



2012.3

# TIA ニュース VOICE

THE

VOICE

編集・発行 財団法人高松市国際交流協会

No.39



## 高松市 セント・ピーターズバーグ市 姉妹都市提携50周年記念事業

高松市とアメリカのセント・ピーターズバーグ市は、昭和36年に四国で初となる姉妹都市提携を結び、昨年は節目となる50周年を迎えました。当協会においても、これまで高校生の相互訪問や市民親善訪問団の訪米など、様々な活動を通して、市民レベルの友好を深めてきました。昨年の10月には市民訪問団の訪米をはじめ、両市間において記念式典や記念植樹などの記念行事が行われました。(詳細は1ページをご覧ください)



INDEX

- ★高松市 セント・ピーターズバーグ市  
姉妹都市提携50周年記念事業
- ★日本語サロン
- ★第16回さめき国際交流お正月会
- ★春節友好交流会
- ★国際交流秋のお茶会
- ★第20回中学生訪中親善使節団
- ★かがわ国際フェスタ2011
- ★姉妹都市からこんにちは
- ★国際交流団体紹介  
香川県青年海外協力隊を育てる会
- ★平成23年度第2回情報交換会
- ★インフォメーション
- ★編集後記

風邪や  
インフル  
エンザに備え  
うがい・手洗い  
を習慣付けましょう!



高松市より  
～市民親善訪問団事業～

平成23年10月14日(金)～21日(金)の8日間、当協会副理事長を団長とする総勢64人の市民親善訪問団がセント・ピーターズバーグ市を訪問し、歓迎式典、記念植樹などの行事に参加しました。現地で日本語を学ぶ大学生や市民の方々の文化交流や夕食会も催され、両市民とも、姉妹都市を身近に感じ、有意義で思い出に残る時間を過ごすことができました。姉妹都市訪問後はニューヨークに移り、世界の大都市を肌で感じるとともに、グラウンドゼロでの献花や国連本部への訪問を通し、震災からの復興と世界平和を願いました。

高松市 セント・ピーターズバーグ市姉妹都市提携50周年記念

セント・ピーターズバーグ市より  
～公式訪問団受入事業～



平成23年11月7日(月)～9日(水)、セント・ピーターズバーグ市のビル・フォスター市長を団長とする公式訪問団10名が来高しました。当協会ではホームステイを希望する団員を受け入れ、歓迎夕食会や玉藻公園での「ハナミズキ」の樹の記念植樹が行われました。サンポートホールでの「姉妹都市提携50周年記念式典」では、懐かしい顔ぶれに再会を喜ぶ両市民の姿がみられ、これらの事業を通して、変わらぬ友好親善を誓いました。



日本語サロンへようこそ!

講師はボランティア、参加費は無料

TIAでは誰でも気軽に参加できる日本語サロンを開講しています。時間は日曜日の13:00～16:00です。

会話に重点をおきながら、現実の生活に密着した日本語を勉強してもらえる楽しいサロンです。

また、4月には中央公園での花見大会、12月のクリスマスには、みんなが自分の国の手料理を作って、持ち寄りパーティーを開きます。

初めての人もアットホームな雰囲気です。みなさんもぜひ参加してみませんか?

Japanese Language Salon: Sundays 13:00-16:00 I-pal conference room at 3rd floor  
"Welcome to friends from all of the world(´◡`)"



「明るい暮らしへのお手伝い」県内の電気工事業者です

社団法人 香川県電気工事業者協会  
会長 山地 真人  
〒760-0081 高松市天神前9番15号  
電話 (087) 831-0863  
FAX (087) 831-0864  
E-mail:kadenkyo@mail.netwave.or.jp



さぬき国際交流お正月会

「日本の伝統的なお正月を在住外国人に体験してもらおう」というコンセプトで始まったお正月会も今年度で16回目を迎え、今年は外国人56人(12カ国)を含む総勢285人の来場がありました。来場者には四国コカ・コーラボトリング株式会社から提供頂いた飲み物と綾川国際交流会による甘酒が無料で振舞われました。7つの国際交流団体との共催で行われた今回のお正月会では、つくたての餅で作った餡餅雑煮やうどんのほか韓国料理のチャプチェや中華料理の水餃子といった和洋折衷の様々な料理に皆さん舌鼓。景品が当たるくじ引きや書道体験、お抹茶体験、手作りおもちゃ体験も行われました。

岡坂佳三氏による和太鼓演奏やロスバリエンテスキッズ& BMAキッズによるダンスでは、迫力あるパフォーマンスに来場者も大盛り上がり。恒例となった外国人による着物ファッションショーでは国際色豊かな10名が参加。着物と袴に身を包んだ姿に感激の様子でした。食べてよし、見てよし、体験してよしのお正月会となりました。



香川県中国留学生学友会、高松市国際交流協会、高松市日中友好協会、四国華僑華人連合会が共催して行う、「春節友好交流会」が1月22日(日)アイパル香川3F大会議室にて開催されました。

この日は旧暦の大晦日であり、留学生、研修生をはじめ市民など約200人が一堂に集まり中国の伝統祭日春節(旧正月)を祝い、楽しいひと時を過ごしました。

会場は中国の赤提灯や「福」の切り絵などで飾りつけされ、留学生や協会のスタッフ等の面踊りで一気に春節を祝うムードが高まりました。ござる連による「阿波踊り」や、香川民団チャングチームによるチャング演奏「ヨンナムから」、高松大学生小河さんによるマーチングパーカッションが披露されたほか、日本の福笑いや小橋克彦さんによる講演、そして風船割りゲームやクイズが繰り広げられ、会場を盛り上げました。最後には景品が当たるビンゴゲームと四国華僑華人連合会が提供する特別奨の抽選会が行われ、交流会は盛況に終わりました。



春節友好交流会

● 国際交流 ●

# 秋のお茶会



11月3日(祝)に玉藻公園の披雲閣において、高松屋島ライオンズクラブ主催の「第46回秋の茶会」が開催され、在住外国人の方々、また、日本にきたばかりの留学生や研修生たち、9カ国1地域20人が招待を受けました。

当日は秋晴れのいい日和でした。参加外国人の方たちは、日本情緒溢れる大座敷に通され、並んで座わると、お茶席が始まりました。和服姿の方々が目の前に差し出すお茶とお菓子を楽しみ、参加者たちは貴重なひと時を過ごすことができました。また、お茶の後にはおいしいお蕎麦をごちそうになり、広間で開催されていた生花展の作品を愛で、日本文化を堪能し披雲閣を後にしました。



## 第20回

# 中学生訪中親善使節団

平成4年からスタート始めた中学生訪中親善使節団の派遣事業は今年で20回を迎えております。いままで約330名の中学生を高松市の友好都市・南昌市や上海、北京へ派遣して中国の学生との交流やホームステイなどを通して、友好親善と豊かな国際感覚の涵養を図ってきました。

「栗林公園や空海ゆかりのうどんを紹介したい」

「ホームステイが楽しみ」

「言葉と文化の壁を越えて、自分の気持ちを伝えられるか? 相手を理解できるか? 不安があるが積極的に交流したい。」と、期待と不安を抱えて3月24日(土)~29日(木)に、市内11校から応募した中学生15名が中国へと旅立ちます。中国でいろいろなことを吸収して、今後の進路や生活に生かしてくれることを期待しています。



## かがわ国際フェスタ 2011



「小さなWakuから、大きなWaku<sup>2</sup>~ We are all together~」をテーマに、平成23年11月6日(日)、在住

外国人と日本人の交流イベント「かがわ国際フェスタ2011」が開催されました。当日は、朝から雨でしたが、開催してからは曇り空で、外のイベントも開催できました。訪れた人々は参加型・体験型のイベントを楽しみました。当協会では、友好都市中国「南昌市」・アメリカ「セント・ピーターズバーグ市」との交流を紹介するパネル、そして姉妹都市友好50周年記念市民親善訪問団の事業紹介のパネルが展示され、訪れた方たちに当協会について知っていただく良い機会になりました。



姉妹都市から  
こんにちは

## From アメリカ セント・ピーターズバーグ市

高松第一高等学校招へい教師

エディソン・オーウインズ さん



私の平日の朝は「コトデンダッシュ」から始まります。たいてい、走って電車の発車時刻に間に合う毎日です。学校では英語を通して生徒の役に立てることが何より嬉しいです。

思い返せば、日本に興味を持ったきっかけは高校で江戸時代について勉強してからです。江戸の優れた文化を持つ日本に、強い印象を受けたことを今でも覚えています。大学でも日本語を勉強し、日本にやってきましたが、学ぶことと実際に体験することは違っていました。日本式のトイレの使い方に戸惑ったことも(笑)!

香川に来て6ヶ月経ちますが、不慣れなことはまだあります。高松の人々はとても親切でいつも温かく迎え入れてくれますが、一方でシャイな人も多いです。英語で話さなくてもいいので、もっとオープンな気持ちを持って接してくれたら嬉しいです!それでも、気候や風景は時々フロリダの故郷を思い出させてくれます。フロリダには四季がありません。大好きな栗林公園で四季の移り変わりを見ましたが、秋がとても綺麗でした。瀬戸内海も好きで、悩んだ時やホームシックになると海を見に行きます。落ち着くことができ、晴れているときはとても美しいと感じます。

日々の高松での暮らしは、いたって平凡です。

少しだけアメリカが恋しくなる時もあります。それでも日本が、そして高松が大好きです。



## 国際交流団体 紹介

### 香川県青年海外協力隊を育てる会



「青年協力隊」は、独立行政法人国際協力機構の実施する事業で、昭和40年の発足以来47年の歴史を持ち、既に84カ国へ36,600名を越す青年が派遣されてきました。各国で活躍する協力隊員は、現地の人々とともに生活し、ともに働きつつ、自分が持つ、知識、技能、経験等を活かして、途上国が必要としている国づくり、人づくりに協力しています。ここに、協力隊活動の真価があります。異文化の中で活動する、そのためには、青年の持つ情熱やバイタリティーが不可欠なのです。

こうした協力隊の活動は、内外から高く評価されており、途上国からの派遣要請も年々増加しております。これらの要請を受けて香川でも民間を中心に「香川県青年海外協力隊を育てる会」が平成4年7月に結成され、本年度で20年を迎えます。これまで香川県から250名を越す隊員が派遣され、途上各国で大きな成果を挙げてきました。平成24年1月31日現在16名(男性10名、女性6名)の隊員がアジア・アフリカ・中近東・中南米・大洋州など世界各地で元気に活躍中であります。

「香川県青年海外協力隊を育てる会」では香川県出身者の青年海外協力隊員を、支援するための広報・組織体制を整備強化し、積極的推進に努めております。

具体的には出発・帰国隊員の壮行会、帰国報告会、県知事及び市・町長表敬訪問、数ヶ月ごとの機関誌発行、現地隊員への金刀比羅宮のお守りや機関誌・カレンダー・文房具等の送付、派遣隊員の県内各地でのパネル写真展、隊員留守家族の懇談会、帰国隊員の地元定着を支援促進するための活動等の支援、広報、組織活動を続けております。



### 平成23年度 第2回 国際交流団体情報交換会

11月25日(金)に平成23年度第2回国際交流団体情報交換会を行いました。11団体12人の代表が参加し、事業内容や今後の国際交流事業についてそれぞれ紹介があり、フリートークでは、活発な意見交換等が行われ、有意義な時間となりました。

また新しい情報がございましたら、当協会までご連絡ください。



TIAの今後の主な事業予定

- 3月 24(土)~29(木) 第20回中学生訪中親善使節団派遣
- 6月 平成24年度 第1回 国際交流団体情報交換会  
(アイバル香川)
- 7月 8(日) 外国人のど自慢大会(サンポートホール高松)  
7月下旬予定 セント・ピータースバーグ市  
高校生親善研修生派遣事業  
7月~ 各国よりホームステイ受入れ  
(アメリカ・ロシア・中国等予定)
- 8月 14(火) 高松まつり 国際交流おどり子連

詳しい日程が決まり次第、TIAのHPやパンフレット等でご案内しますので是非ご参加下さい。



当協会では随時、国際交流ボランティアを募集しています。活動内容は語学ボランティア、ホームステイ受入れ、事業運営、編集などです。興味のある方は是非登録してください。

英語併記の地図を活用してください!!

Life Navigator  
TAKAMATSU

高松市内はもちろん、高松近郊も入った便利な地図です。観光名所、文化施設、病院などはもとより、高速道路や温泉、八十八か所のお寺など情報満載です。

外国人:無料/日本人:100円



「7ヶ国語会話集」  
「国際交流活動の手引き」  
好評配布中!

外国からのお客様が我が家にホームステイすることになったら? 「なんて言えばいいの??!」答えはこの2冊の中から見つかります。無料



参加費無料

毎週日曜「日本語サロン」

13時~16時 アイバル香川3F

日本語を楽しく勉強しませんか?  
ボランティア講師が皆さんの参加を  
待っています^^

国際交流団体への  
助成金制度のお知らせ

平成24年度

当協会では高松市内の国際交流団体が自主的に企画、実施する国際交流事業に対する後援および事業費等の助成制度があります。

- ①後援:名義後援
- ②事業費助成

対象:市内および姉妹・友好都市での国際交流事業  
事業費三分の一助成  
限度額10万円

※申請を受け付けた後、協会にて審査し結果を通知することになります。

外国人私費留学生への  
国民健康保険助成について

平成24年も、高松市内に在住する私費留学生全員に国民健康保険料の一部を助成しています。詳しくは、事務局へお問い合わせ下さい。

編集後記

昨年の東日本大震災から、1年が経ちました。

被災地では、今も、復興もままらな  
い中、大雪で苦勞されています。被災地の皆様方に1日も早い復興と、暖かい春が来ることをお祈りいたします。

さて、TIAニュースも、今回で第39号を発行することができました。これまで、紙面を飾ってくださった皆様、そして取材・編集等に御協力いただいたスタッフの方々々に感謝申し上げますとともに、今後より一層、充実した紙面作りに努めますので、よろしくお祈りいたします。

T. O